

令和3年度 年次事業評価書 (評価対象年度: 令和2年度)

施設名: 岩崎城歴史記念館、展望塔岩崎城及び岩崎城址公園

概要	施設所在地・所管課	日進市岩崎町市場67番地	所管課: 生涯学習課
	設置目的	市教育、学術及び郷土文化の振興を図る。	
	指定期間・選定方法	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日	選定方法: 公募
	指定管理者	所在地 東京都目黒区東山1丁目5番4号 KDX中目黒ビル6階 団体名・代表者 アクティオ株式会社 代表取締役社長 淡野 文孝	

	令和元年度	令和2年度	前年度比
指定管理料(市委託料)	26,221千円	26,437千円	100.8%
利用料金収入	26千円	14千円	53.8%
施設利用者数	37,238人	25,282人	67.9%

分類	評価項目	評価基準	評価点 (5~1点)
共通 評価 事項	1 法令等遵守	法令、条例、業務仕様書等に基づき、必要な施設の維持管理、点検、報告等が適切に行われている。	4点
	2 清掃業務	業務仕様書に基づき、清掃業務・維持管理が、適切に行われている。	4点
	3 保安警備業務	業務仕様書に基づき、保安・警備業務が、適切に行われている。	4点
	4 業務の委託	第三者への委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切に行われている。	4点
	5 業務記録	業務日誌及び点検、修繕等の履歴を適切に整備し、保管している。	4点
	6 職員の配置	必要な資格、経験を有するものなど、事業計画書に即し、人員を過不足無く配置している。また、従業員の労働条件、賃金水準が、適正に確保されている。	4点
	7 職員研修	施設の設置目的達成のために必要な研修・教育が、適切に行われている。	4点
	8 個人情報保護	利用者の個人情報を保護するための対策を適切に講じられている。	4点
	9 緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が確保され、また、マニュアルが整備されている。	4点
	10 施設利用の状況	利用者数や施設の稼働率は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4点
	11 利用促進業務	施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動が適切に行われ、その効果が認められる。	4点
	12 利用者支援業務	施設利用者が円滑に活動できるように、必要な指導・助言が適切に行われている。	4点
	13 モニタリング	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組が適切に行われている。また、事業報告書等による市への報告・説明が、適切に行われている。	4点
	14 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が、適切に行われている。	5点
	15 収支の状況	利用料収入は、前年度の実績等に比べて適切、妥当な水準にある。	4点
	16 予算執行	施設の事業収支は、適切な手続きに沿って執行されている。	4点
特記事項	標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由	【14自主事業】 昨年度に引き続きブームが続く御城印の販売に加え、令和2年は丹羽氏次の生誕470年の年であったため、丹羽氏次等の武将印を新たに販売し、丹羽氏次の周知に努めた。その他、新規事業で市内城跡を巡るフォトラリーや岩崎城フィールドワークを行うなど、積極的に市内の文化財を市民に周知する事業を行った。	
	標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由		
	その他特記事項	11月末からの市内城跡を巡るフォトラリーを実施し、文化財でありながらなかなかクローズアップされなかった史跡の紹介をしていただいたことは評価できる。今後も市の博物館相当施設として、市の文化財を活かす事業を計画していただきたい。	
	(施設所管課) 改善に向けた助言等の内容	利用促進業務において、積極的にTwitterを利用するなどし、各種イベント等の周知を行ったが、イベントの中でチラシの配布を行っていないものもあり、ポスターの作成とともに、市内の公共施設等で配布できるチラシの作成も併せて行ってほしい。	

個別評価事項 (設置目的に応じた内容)	1 管理運営	利用者の関心を引く企画展示が行われている。	5	点	
	2 職員研修	担当職員の歴史・文化知識習得が奨励されている。	4	点	
	3 新規利用者の獲得	新規利用者を獲得できる事業が行われている。	4	点	
	4 学ぶ機会の提供	利用者が歴史・文化を学ぶ機会が提供されている。	4	点	
	特記事項	<p>標準点(4点)を上回る評価をした項目と理由</p> <p>【1管理運営】 企画展「丹羽家と岩崎城の400年」ではお城ブームもあり、多くの方が訪れ好評をいただいたり、歴史講座「岩崎城の戦いを考える」では定員の倍を超える希望者があつたりと、戦国時代に関連する企画展示を多くし、市民の関心を引く内容であった。</p> <p>標準点(4点)を下回る評価をした項目と理由</p> <p>その他特記事項</p> <p>新たな試みである岩崎城フィールドワークは岩崎城の魅力を伝えることのできるガイドツアーとして好評を得て、今後も引き続き岩崎城を知っていただく機会として継続してください。また、夏の特別展では日進中学校の生徒の絵を展示し市内中学校との連携を図ったので、今後も市内の小・中学校と連携を図り、小・中学生に岩崎城や市内史跡を知ってもらおう企画をしてください。</p> <p>(施設所管課)改善に向けた助言等の内容</p> <p>お城ブームや御城印ブームでお城に興味のある方が歴史を学ぶ場となっていると思うが、歴史に興味のない方にも足を運んでもらい、歴史を知ってもらえるような企画を検討してください。</p>			
総評	課題点に対する取組状況 ※昨年度指摘した課題は解消されたか	魅力的なイベントや講座を企画し、入場者数を増やし、歴史・文化に触れる機会を増やすことが課題であったが、今年度は市内城跡を巡るフォトラリーや岩崎城フィールドワーク等の新しい企画を実施し、コロナ禍においても可能な企画を考え、参加者から好評を得たことは評価できる。昨年度あつたHP掲載の遅れも今年度はなかった。	合計	82	点
	一年間の総評 ※点数では表すことができない、指定管理者の管理運営業務における創意工夫や改善等を幅広く記載する。	4・5月は新型コロナウイルス感染症感染拡大による休館となったが、休館中は岩崎城の新しいチラシを作成し、岩崎城と連携を図る城に配布を行った。新たなチラシは今までのパンフレットと違い、目を引くデザインとなっており、連携する施設に配布することにより、集客につながると思われる。8月からの特別展「見えない何か～ものけ・幽霊・怪異～」は明治記念館で保管されている書物や民具を利用し、日進市の不思議な話を紹介するなど、岩崎城らしい展示となり、入場者の興味を持ってもらえる内容となった。同時開催の岩崎城での「想像の生き物作品展」は日進中学校の2・3年生の作品を153点を展示し、市内の中学と連携の展示を行うことができ、岩崎城の利用層ではない世代に岩崎城を知ってもらいやすい機会になったと思われる。11月の菊花大会では新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、団体客の見学者は減ったが、出品者は例年並みで出品鉢数は前年度より100鉢増えた。ただ、出品者と受賞者が固定的になっているので、新たな出品者を迎え入れることが必要である。同時開催のイベントとして水墨画教室を初めて行い好評だったようなので、今後も菊に興味を持てるような企画をし、見学者が増える努力を行ってほしい。3月のおひなさまスタンプラリーでは県内を巡るスタンプラリーが中止となったため、旧市川家住宅と2館でスタンプラリーを行った。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、事業に制約があつたが、コロナ対応のイベントを行い、コロナ禍においても市民の方に楽しんでてもらえたことは評価できる。	総合判定	A	

判定基準	5点…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	4点【標準点】…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	3点…基本協定書等の内容は遵守されているが、これを上回る部分がなく課題の解消が必要な部分がある。
	2点…基本協定書等の内容を一部下回るものがあり、改善に対する課題がある。
	1点…管理運営が適切に行われたとは認められず、抜本的な改善を要する。

総合評価基準	S【優良】合計85点以上…期待する水準を大幅に満たし、優良な管理を行っている。
	A【良好】合計70点～84点…期待する水準を満たし、良好な管理を行っている。
	B【適正】合計60点～69点…一部に課題の解消が必要な部分があるが、概ね妥当である。
	C【改善】合計50点～59点…期待する水準を満たす状況になく、改善が必要である。
D【抜本的改善】合計49点以下…期待する水準を大幅に満たしておらず、抜本的な改善が必要である。	